

# 鞍岳だより (第7号) 大津北小・学校運営協議会

地域と北小をつなぐコミュニティ・スクール情報紙

発行責任者 小原 孝徳

## 学校運営協議会、第2回全体会議を開催しました (11月21日)

議題は、①学校評価アンケート前期結果について ②5月～11月の学校の様子の説明と、①②を受けた、当面の課題等について意見交換を行いました。

①については、「児童・保護者のアンケート」集約を受けた結果が報告されました。

「学校は楽しい」と回答した児童が91.8%、保護者が88.4%と高い評価が報告され、「授業は分かり易い」「学校では一人一人が大切にされている」「学校の様子は学級通信などで分かり易く発信されている」等の項目についても高い評価が示されました。

全体として児童、保護者から高い評価が示されたことは、コロナ禍で制約を受ける中で、先生方の努力の賜物であり、とても喜ばしいことです。

一方、「自分から進んで家庭学習をしている。」(児童61.3%、保護者51.2%)「家や学校で本を読んでいる」(児童67.4%、保護者39.5%)という結果が出ました。

こうした結果を受けて、読書の定着に向けた取り組みについて、委員の間で意見交換をしました。最近ではスマホ等に時間を費やす児童も多く、読書の時間が少ないと言われています。併せて、コロナ禍で、図書委員や地域のボランティアによる、週一の朝の読み聞かせが以前のように出来ず、BSDとPTAの図書委員会による月一回ずつのリモートによる読み聞かせとなっています。子供たちが読書に親しむように学校での読書の時間を増やしたり、まずは保護者が率先して読書に親しむなどの努力が必要であること、等の意見が表明されました。

会議を中断して、授業の様子を運営委員で全学年、見学しました。久しぶりの授業見学ができ、児童の元気な様子を、直に拝見できたのは良かったと思います。



全体会議の様子 (12月21日)



カライモ収穫(1～3年生 10月28日)



地下水位観測井戸(左)と雨量観測所



稲刈り(5年生 10月14日)

# 地域と北小を繋ぐコミュニティ・スクール情報紙

## 秋は収穫の時！「総合的な学習の時間」の取り組み！

秋は地域のボランティアの方々も関わった「総合的な学習の時間」に取り組みました。初夏に植え付けたカライモや稲の収穫、そして各地に出掛けて、水の学習をおこないました。

10月28日、1～3年生は仮宿区の只野正和さんの畑で、カライモの収穫をしました。10月14日5年生の稲刈りは、農業法人「もやいネット真城」の吉良富美雄さんの指導の元、6月16日に植えた真木の棚田の稲刈りをしました。刈取りの後は、バインダーで脱穀の作業をおこないました。1時間足らずで刈取り、脱穀を終了。作業に先立ち、新米の「お握り」を頂きました。

4年生は10月31日に校区内の「水事情の今昔について」勉強した後、11月2日午前中、学校の傍の縦井戸二カ所、水道記念碑、矢野一心さんの横井戸(マブ)の現地見学を行いました。学校の敷地の傍には、地下水位観測井戸(地下120Mを流れる水の水位を測定して、自動記録する施設)や1941年(昭和16年)に設置された雨量観測所が存在することも判明し、見学をしました。(表面に建物写真掲載)

11月10日には、仮宿の松本久章さんの案内で「仮宿の堤」(通称)を見学、その後、矢護川・真木地区に出掛けて「お諏訪さんの水」や「下山湧水」「真木の簡易水道組合のタンク」、そして各地の水道企業団の施設を見学しました。地元の渡邊明さんから詳しい説明をしていただきました。

また、22日には瀬田地区に出かけて、上井手、下井手の取り入れ口など、400年も前の江戸時代の水の勉強をしました。地元の西本憲二さんにガイドしていただきました。瀬田人の会が運営している、野菜直売所で会の方々とも交流ができました。

お芋堀りを除いたイベントには、西村、内田の地域コーディネーターが参加しました。



仮宿の堤 (11月10日)



瀬田屋形井樋 (11月22日)

### 《編集後記》

今年も10～11月学校行事が多い中で、「総合的な学習の時間」に取り組みました。コロナが下火の時期で幸いでした。それぞれの地域の方々の指導やガイドなど、大変お世話になりました。

4年生の「水の学習」は私が関わって、6年になります。資料もたくさん集まったことから、校区内の「水の資料集」が発行できればと考えています。来年の「総合的な学習の時間」に間に合うように準備したいと考えています。完成したら図書室にも常備したいですね。(内田)



瀬田野菜販売所 (11月22日)